世　界　史

I　次の文章を読んで，設問に答えなさい。

人類は文字を使い始めたころから，ことばを金属や石材に彫り込んだり，建築物などの壁面に刻み，また書いてきた。紙やそれに類似する書写材料が発明された後の時代に生きるわたしたちには，硬い金属や石材などに文字を記すことは奇異に感じられるかも知れないが，文字が発明されてから長い年月にわたって，人類はこうした硬い書写材料を用いて文章を残し，伝えてきた。紙やそれに類似する書写材料にインクなどを用いて文字を記した文書に対して，金属や石材で文字を記録した文書を金石文と総称する(ほかにも，壁などに鋭利なもので彫りつけた「落書き(グラッフィーティ)」などがある)。わたしたちの身の回りの金石文として，墓石，大型建築物の定礎板，寺社の境内などで見かける奉納碑や記念碑などが思い浮かぶ。重要な情報を読ませるために設置された碑文がある一方，モニュメントとして象徴的な役割を果たすことが期待されて設置された碑文もある。今日，西安に保存されている開成石経は前者の例であり，(　1　)や論語を含む，(　2　)の重要な文書を石に刻んで保存し，あわせて正しい本文を開示するという狙いがあると思われる。(　3　)の時代，西暦833年～837年にわたって刻まれ，完成した年の元号「開成」を冠して呼ばれている。同じく(　3　)の時代に建立され，今は西安に保存されている大秦景教流行中国碑は，(　4　)派のキリスト教が唐に伝わった経緯を後世に伝えようとするものである。大唐三蔵聖教序碑は，(　5　)の仏典翻訳を称えた唐の太宗の文章を褚遂良が楷書で認め，それを刻んだものである。東晋の書聖，(　6　)の字を集めて繋(つな)ぎ合わせ，同じ文章を刻んだ集王聖教序(集字聖教序)もある。このように見ると，単に伝達する情報だけが重要なのではなく，(　7　)にも大きな意味があったことがうかがわれる。目を西方に転じると，ヴァイキングなどが使用したルーン文字⑧を刻んだ石碑群がある。読む者への呪い，死者を記念することばなどが刻まれている。一枚の碑文に刻み込まれた文字数は多くはないけれども，碑の大きさ，周囲の景観の整備など，刻文内容の外側の要素と緊密に連動し

ているようである。刻まれた文字数が多く，盛り込まれた情報も重要であり，公共性の高いものでありながら，実際には読みにくそうな事例もある。(　9　)同盟に加盟するポリスからアテネに集まる貢租金の1/60の額を刻み，リストにした，一連の(　9　)同盟貢租表である。アテネのアクロポリスに設置されていた。納付額の1/60は女神アテナに捧げられた初穂料の額である。碑は巨大で，刻み込まれた字数は多く，一文字一文字が小さくて，記録文書として閲覧するには相当の不便が予想される。碑文冒頭を読もうとすれば，見上げるうちに，首が痛くなる。そのため，これは会計文書として公開されたのではなく，また初穂料を刻んだということからも，同盟に関する行政文書としてではなく，(　10　)として設置された象徴的な碑文，すなわちモニュメントであるという解釈がされることもある。さまざまな神を祀った神域であるアクロポリスという場所柄を考えれば，そうした考え方にも一理あるように思われる。

問 1　空欄1に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　山海経　　②　本草綱目　　③　仏国記　　④　詩　経

問 2　空欄2に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　儒　教　　②　道　教　　③　仏　教　　④　法　家

問 3　空欄3に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　東　晋　　②　隋　　③　唐　　④　五代十国

問 4　空欄4に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　アリウス　　②　アタナシウス

③　ネストリウス　　④　ボゴミール

問 5　空欄5に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　鳩摩羅什　　②　仏図澄　　③　玄　奘　　④　法　顕

問 6　空欄 6 に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　王羲之　　②　欧陽詢　　③　顔真卿　　④　空　海

問 7　空欄 7 に入る適切な語句を選び，その記号をマークしなさい。

①　刻み込む人の名前　　②　刻み込む字の形

③　文章を起草した人　　④　建立された時代

問 8　下線部⑧に関して，もっとも適切な記述を選び，その記号をマークしなさい。

①　漢字と同じ表意文字であり，突厥文字と密接な関係がある。

②　ラテンアルファベットと同じ表音文字であり，ゲルマン系の言語文化と関係がある。

③　ラテンアルファベットと同じ表音文字であり，ゲルマン系の言語文化とは関係がない。

④　ラテンアルファベットと同じ表意文字であり，アラブの言語文化と関係がある。

問 9　空欄 9 に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

①　ペロポネソス　　②　コリントス

③　神　聖　　④　デロス

問10　空欄 10 に入る適切な語句を選び，その記号をマークしなさい。

①　魔除けの護符　　②　政治家の箔づけ

③　神に対する捧げ物　　④　情報公開の一環

Ⅱ　次の文章を読んで，設問に答えなさい。

あるタペストリーがフランスの北部①に伝わっている。11 世紀のものである。末尾が欠けてはいるものの，およそ 70m もの長さがあり，そこに一連の情景が刺繍により描き出されている。現在，58 の場面に区分されている。主な登場人物はエドワード懺悔王②(「証聖王」などとも呼ばれる)，ハロルド 2 世，(　3　)(征服王)である。タペストリーには所々に情景を説明するキャプションのような文が刺繍されている。文はラテン語で綴られている。

(　3　)の名前は「VVILLELMI(ウィッレルムスの変化形)」「WILLELMI(ウィッレルムスの変化形)」「VVILGELMVM(ウィルゲルムスの変化形)」などと表記され，揺らぎがある。また今日まで残っているタペストリーの中で，18 回，その名前が記されているが，そのうちの 5 回(第 11 場面，第 21 場面，第 22 場面，第 44 場面，第 46 場面)を除き，常にドゥクス dux という肩書が添えられている④。この言葉は古代ローマで「指導者」，また「軍隊を統率する立場にある者」「部将」などを意味し，それが転じて「公」の爵位を示すようになった。今日 Duke of Cambridge などの爵位に用いられる duke の語源である。

同じく主人公であるエドワード懺悔王は 4 回登場し(ラテン語で「エドウァルドゥス」)，その全てにレークス rex という肩書が添えられている。ラテン語で「王」を意味する言葉である。

ハロルド 2 世は合計 20 回登場する。最初に登場する第 2 場面でドゥクス(公)という肩書が添えられ，以後第 17 場面，第 24 場面にもドゥクスが添えられている。第 29 場面ではエドワード懺悔王の後を継いで王位につき，続く第 30 場面で初めてレークス(王)の肩書が添えられる。第 50 場面，第 52 場面，第 57 場面でも同様である。第 56 場面では「ここでフランク人が戦い，ハロルドとともにいた者たちが死んだ」，第 57 場面では「ここでハロルド王が殺害された」という文が刺繍されている。現存するタペストリー最後の第 58 場面では「そしてアングル人は踵(きびす)を返して逃走した」と結ぶ。

名前の揺らぎ，肩書の有無など，この刺繍を史料として使う場合，不安な材料にもなりそうである。実際，何度か描き出される船⑤の形が，発掘で判明しているもの

と一致しないところもある。その一方で，タペストリーに刺繍された（　3　）の座乗船の船尾には右手に持った角笛のようなものを吹きつつ，左手に槍を構える人形の飾りが見えている。（　3　）の指揮した船団の一覧を記録した文書には，彼の乗る船は妻マティルダが贈ったものであり，船尾には子供の黄金像をあしらい，その像の右手はイングランドを指さし，左手に持った角笛を唇に押し当てている，と記されている。多少の違いはあるにしても，タペストリーの刺繍が事件のなりゆきとは無関係な細部をそれなりにきちんと記録しているとみてよいだろう。第32場面には「この人々は星を見上げている」という文とともに，それらしい図柄が刺繍されている。（　7　）である。大事件の前兆として理解されたのであろう。この現象は当時作成された文書にも記録されており，また現代の天文学の計算結果とも一致する。こうした事情を踏まえると，タペストリーがもつ史料的な価値は軽視できない。

タペストリーの後半，第40場面，第45場面，第48場面にはヘスティンガという地名が刺繍されている。それぞれ「そしてここで兵士たちはヘスティンガへと急行した。食料を略奪するためである」「ヘスティンガの陣地のそばに空堀を掘って砦を作るよう命じた」「ここで兵士たちはヘスティンガを出てハロルド王と交戦状態に入った」と綴られている。（　8　）である。タペストリーではハロルド王が討ち取られ，対する（　3　）が勝利を収める様子が描き出されている。その武功を記念するのが狙いであるのは間違いないだろう。

タペストリーの冒頭はエドワード懺悔王，ハロルドの動きから始まり，（　3　）の名前が出てくるのは第10場面（「ここでウィッレルムス公の伝令がやってきた」）を待たねばならず，（　3　）本人の動静は第13場面（「ここでウィドはハロルドをノルマン人の公であるウィルゲルムスの元へと連れて行った」）以下の会談の場面でようやく明らかとなる。（　3　）の動静はエドワード，ハロルドの動きを受けて対応してのものであり，自ら進んでことを起こしたのではないという主張がこめられているのかも知れない。第21場面では「ここでウィッレルムスはハロルドに武装を授けた」，以下「ここでウィッレルムスはバギアエに赴いた」（第22場面），「この地でハロルドはウィッレルムス公に誓いをたてた」（第23場面），「ここでハロルド公はアングリアの地へと帰った」（第24場面），「そしてエドウァルドゥス王の下へと

赴いた」(第25場面)と続いている。第26場面でエドワード王の遺骸が使徒ペテロ教会(ウェストミンスター寺院)へ運び込まれ，第29場面でハロルドが後継者として王位についたのは既に述べた。ハロルドが(　3　)の封臣となり，誓いを立てながら，王位につき，両者が戦ったということは，おそらくハロルドが誓いに背き，裏切ったということを表しているのであろう。

問 1　下線部①に関して，もっとも適切な記述を選び，その記号をマークしなさい。

① 具体的には，セーヌ川に面した大都市の大聖堂を指す。古代ローマ人がルーテーティア＝パリーシオールムと呼ばれる町を創建して以来，物資の集散地として栄えてきた。そのため，古来，多くの至宝がこの町に集められ，本文で述べるタペストリーもそうした宝物の一つとして伝世したものである。

② 1944年に米英連合軍が上陸作戦を敢行した地域である。シャルル＝ド＝ゴールは上陸作戦成功後にこの地域のバイユーで演説を行い，フランス「解放」後に統治を行う臨時政府を発足させるきっかけとなった。連合軍はこの地域を奪還し，フランスを占領していたドイツに痛撃を与えることに成功した。戦後，ド＝ゴールは再びバイユーの地で演説を行い，新たな憲法の構想を示した。

③ ガロンヌ川が町を貫いて流れる町は，ブルディガラと呼ばれた昔から，ぶどう酒の名産地として知られている。アキテーヌ公国の首府であり，後にイングランド王家がこの地を領有することになった関係上，本文に述べるタペストリーがこの地に伝えられることとなった。

④ フランク人と呼ばれる集団が形成されたライン川東岸を指す。フランク人は今日のドイツ，フランス，イタリアにまたがる広大な版図を支配することとなったため，その発端となったこの地方に，本文に述べるタペストリーが伝えられることとなった。

問 2　下線部②に関して，もっとも適切な記述を選び，その記号をマークしなさい。

① カエサルが征服し，クラウディウスが属州としたブリタニアで，統治の業務を代行した族長の一人である。

② アングロ＝サクソン七王国のウェセックス家出身の大王。「アングル人の王」「アングル人ならびにサクソン人の王」を名乗る。デーン人の侵入を撃退し，クヌートを滅ぼした。

③ アングロ＝サクソン王国のウェセックス家の出身で，最後の「アングル人の王」とみなされることの多い人物である。

④ 円卓の騎士，聖杯伝説，エクスカリバーと呼ばれる名刀と結びつけられ，神話化されたケルト系の王で，押し寄せる外敵を迎え撃とうとして敗死した。

問 3　空欄 3 に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① フリードリヒ 1 世　　② フリードリヒ 2 世

③ ウィリアム 1 世　　④ フリードリヒ＝ヴィルヘルム 2 世

問 4　下線部④に関して，もっとも適切な記述を選び，その記号をマークしなさい。

① プランタジネット朝は一時期，イングランド，フランス両王国にまたがる広大な地域を支配した。ハロルド王を破った(　3　)がフランスでは dux であったことが原因の一つとして成立した支配圏である。

② 英仏百年戦争の結果成立したプランタジネット朝が「アンジュー帝国」の建設に乗り出す際に，(　3　)がフランスの dux であったことを口実に出兵を行った。

③ dux(公)という称号は，中世になると rex(王)と同じ意味になる。今日のルクセンブルク大公国を見れば明らかである。タペストリーの dux と rex も，単にイングランド，フランスで「王」を意味することばが違うだけのことであり，特別な意味はない。

④ 「大岡越前守」や「大石内蔵助」のように，官職名が個人名に使われることが日本でも見受けられる。(　3　)に添えられる dux もそうした個人名の一部として用いられていることは，タペストリーに出てくる他の主人公の名乗りを見れば，明らかである。

問 5　下線部⑤に関して，もっとも適切な記述を選び，その記号をマークしなさい。

① 風があるときには帆走し，風がないとき，戦闘行動に出るときには上下三段にわたって設置された櫂を用い，人力で漕ぎ，高速，かつ自由自在な運動を見せた。船首には衝角が装着されていなかった。

② 喫水が浅く，軽い船で，速く，水深の浅いところでも航行でき，また海岸や河岸に乗り上げることも可能であったため，搭乗員の上陸や乗船が容易であった。軽量なこの船は陸上を運搬することもできる。バルト海から黒海へと抜け，ビザンツ帝国へと至るルートでは，実際にルートの一部で船を陸上に上げて運搬していたことが判っている。

③ 蛇腹式の縦帆と横隔壁が特徴的な，遠洋航海用の大型船である。その喫水の深さ，排水量の大きさが衝突時の威力を増すため，遠征艦隊に用いられることが常であった。

④ 三角帆が特徴的な木造船。アラビア海，インド洋で広く用いられたものが，ローマ帝国を通じてフランスにも伝わり，中世ヨーロッパで盛んに建造された船である。

問 6　下線部⑤に関して，関係のないものを選び，その記号をマークしなさい。

① ノヴゴルド王国　　② 両シチリア王国

③ アイスランド　　④ アーメダバード

問 7　空欄 7 に入ることばを説明したものとして，もっとも適切な記述を選び，その記号をマークしなさい。

① 夜空を見上げたときに，常にこの星を中心として，その他の星々がそのまわりをめぐっているため，宇宙全体を司る星として崇められた。

② 一年を通じて宵の明星として知られ，ひときわ明るく輝く星が常に幸先のよいものとして感じられた。

③ 75.32 年周期で地球に接近する彗星であり，尾を引く異様な姿に人々が恐れを抱いたのであろう。またタペストリーに描かれた接近時にはきわめて大きく見えたらしく，普段は夜空にないこの星を見た者が驚いたのも無理はない。

④ 実際には金環食であり，星ではない。天体観測開始前の時代であったため，人類は日食についてまだ知識がなかったので，この現状を目にして，大変に驚いた。

問 8　空欄 8 に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① カムランの戦い　　② カムロドゥヌムの戦い

③ カタラウヌムの戦い　　④ ヘースティングズの戦い

問 9　（　8　）で成立したイングランドの王朝の名前として，正しいものを選び，その記号をマークしなさい。

① ノルマン朝　　② ゲルマン朝

③ アレマン朝　　④ デーン朝

問10　このタペストリーの素材として考えられるものを可能性の高い順に並べたとき，もっとも適切な順番を次の選択肢から選び，その記号をマークしなさい。

①　1：木綿　　2：亜麻　　3：羊毛

②　1：木綿　　2：羊毛　　3：亜麻

③　1：羊毛　　2：木綿　　3：亜麻

④　1：亜麻　　2：羊毛　　3：木綿

Ⅲ　ジャガイモに関する次の文章を読んで，設問に答えなさい。

19 世紀フランスの画家ジャン－フランソワ＝ミレーの《晩鐘》【図１】は，夕暮れ時の畑で手を休め，教会から響いてくる鐘の音を聞きながら祈りを捧げる夫婦を描いた作品である。二人の足元に置かれたバスケットにはジャガイモが入っている。

図１　ミレー《晩鐘》1856～57 年

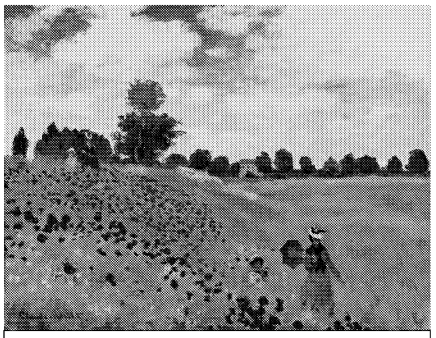

図２　モネ《ひなげし》1873 年

ミレーが生きた 19 世紀の終わり頃には，屋外の光の見え方を描くことに力を注いだクロード＝モネ【図２】やオーギュスト＝ルノワールら，（　1　）の画家が現れ，絵画の大きな潮流となり，彼らの作品は，現在に至るまで人気を誇っている。

その先駆けとなったのが，首都パリから近い農村バルビゾンにたびたび足を運び，滞在して制作したミレーら「バルビゾン派」の画家たちだった。農村での庶民の暮らしぶりを描いた彼らの絵画が，この時代に一部の人びとに好まれるようになったのは，偶然ではない。

18 世紀のイギリスでは，さまざまな紡績機の発明，ジェームズ＝ワットによる蒸気機関の改良など，新しい技術が次々と生み出され，工業を発展させるきっかけとなった。

この（　2　）の波はやがて隣国フランスにも及び，フランスでも工場の働き手として多くの人が農村から都市に移住し，「労働者」という新たな人口を形成した。このような資本主義初期には，新興の中産階級として成功する者が現れたいっぽうで，多くの労働者を取り巻く環境は厳しく，生活は楽なものではなかった。

19 世紀のフランスではまた，ワーテルローの戦いに敗れたナポレオン１世の失

図3　《サン＝ベルナール峠を越えるボナパルト》1801年

脚と王政復古を経たあと，特権階級の人びとが権力を占有するのではなく，多くの国民が選挙権を持ち，政治に参加できる体制を求める機運が高まり，1848年に(　3　)が起こった。

これ以前のフランスの美術界では，王族や貴族，あるいは神話や聖書の人物や神々などを描いた「歴史画」が支配的だった。19世紀初めのその代表格のひとりに，《サン＝ベルナール峠を越えるボナパルト》【図3】などの作品を残した(　4　)がいる。

図4　クールベ《オルナンの埋葬》1849～50年

いっぽうこの時代にミレーや，写実主義の画家ギュスターヴ＝クールベ【図4】らが庶民を主役として描いたのは，産業革命や共和政への動きに並行して，「一般の人びと」が歴史の表舞台に現れ出たことと関わっている。

また，それまでのヨーロッパではあくまでも歴史画の背景に過ぎなかった「風景」が，絵画の主役になり始めたのも同じ頃のことだった。都市が発展し，また，農村から都市に移住して豊かになった人びとが田園風景への愛着を持っていたことが，そのきっかけの一つだとも言われる。

さらに，チューブ入りの絵の具が発明されたこと，19世紀にイギリスのスティーヴンソンの発明をきっかけに実用化された(　5　)が，フランスにも普及して，移動が容易になったことで，戸外での風景画制作は盛んになった。

ミレーの《晩鐘》の畑で収穫されているのはジャガイモだが，これは元々はヨーロッパにはなかった作物で，原産地は現在の南米ペルー付近のアンデス山地であると考えられている。

1492年に，ジェノヴァ生まれの船乗り(　6　)が大西洋を西進してカリブの

島々に到着したことを皮切りに，ポルトガルやスペインは海洋進出に乗り出した。16 世紀の初め，黄金を求めて新大陸にやってきたスペイン人征服者のひとりであるピサロの一行は，アンデス地方で繁栄していた(　7　)を滅ぼした。

スペイン人はポトシ銀山から大量の銀を持ち帰ったが，同じ 16 世紀のうちに，トマトやジャガイモも，原産地のアンデス地方からヨーロッパに持ち込まれたと推測される。その後，徐々にヨーロッパ各地に広まったジャガイモは，当初はよい食べ物とは思われていなかったが，寒冷地でも生育し，小麦が不作になる気候不順の影響を受けにくいため，貧しい農民にとっては救世主とも呼べる作物となり，ヨーロッパの食糧問題に解決の道すじが示された。

とりわけ，1618 年から 48 年までドイツで続いた(　8　)で，耕地が荒れ果てて飢餓に苦しめられた人びとは，窮余の策としてジャガイモを栽培するようになった。その百年余りのちにジャガイモ栽培を促す政策を打ち出したフリードリヒ大王の治世には，プロイセンの人口は倍増し，国力の礎が築かれた。

18 世紀，フランスもたびたび飢饉に苦しんだ。食糧を求める人びとが原動力となり，バスティーユ牢獄への襲撃に始まるフランス革命が起きた(　9　)年，パルマンティエという人物がジャガイモなどの栽培法についての本を著し，ジャガイモ栽培が広まってゆく。1799 年に実権を握ったナポレオン 1 世も，イギリスを孤立させるため 1806 年に(　10　)を発したこともあり，食糧自給を目指してジャガイモ栽培を推し進めた。

以後，ジャガイモは貧しい農民の主食として広まっていくが，1848 年の(　3　)に先立つ数年には，小麦は不作となり，ジャガイモを腐らせる疫病(パンデミック)がヨーロッパ中に流行したこともあって，多くの人が飢餓に苦しみ，政府への不満が高まっていた。

ミレーの《晩鐘》が制作されたのが，その 8 年ほど後，1856 年から 57 年にかけてだったことを考えると，この作品には，慎ましい暮らしを懸命に送る庶民への，画家の共感や敬愛の思いを読み取ることができるだろう。

問 1　空欄1に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① ロマン派　② マニエリスム

③ 印象派　④ キュビスム

問 2　空欄2に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① 情報技術革命　② 産業革命

③ 農業革命　④ 無血革命

問 3　空欄3に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① デカブリストの乱　② ボストン茶会事件

③ 二月革命　④ 血の日曜日事件

問 4　空欄4に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① ゾラ　② ダヴィド

③ シューベルト　④ ヘーゲル

問 5　空欄5に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① 蒸気船　② 自動車　③ 鉄　道　④ 航空機

問 6　空欄6に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① アメリゴ＝ヴェスプッチ　② ヴァスコ＝ダ＝ガマ

③ マガリャンイス　④ コロンブス

問 7　空欄7に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① インカ帝国　② マリ王国

③ フランク王国　④ ムガル帝国

問 8　空欄8に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① 三十年戦争　② バラ戦争　③ 普仏戦争　④ 南北戦争

問 9　空欄 9 に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① 1759　② 1769　③ 1779　④ 1789

問 10　空欄 10 に入る適切な語を選び，その記号をマークしなさい。

① 大陸封鎖令　② ナントの勅令

③ 聖像禁止令　④ 農奴解放令

Ⅳ　次の文章を読んで，設問に答えなさい。

グローバル＝ヒストリーは，20 世紀の終わり頃から注目を集めるようになった歴史学の新潮流である。その先駆とされる歴史書はいくつもあるが，一般読者に広く読まれた書物としては，①トインビー『歴史の研究』(1934～61 年)，マクニール『西洋の勃興』(1963 年)などがまずあげられるだろう。これらは，人類全体の歴史を俯瞰するといいながら，実のところなぜヨーロッパと北米が興隆したのかを説明することをテーマとした著作である。たとえばマクニールの場合には，第一部で②メソポタミア文明，古代エジプト文明，インダス文明から説きおこし，第二部では③ヘレニズムの時代から 1500 年頃まで，第三部では④ヨーロッパの海外進出から 20 世紀初頭までの歴史を，地域間の力関係の変化を重視して描き出している。

専門家のために書かれた古典的な著作としては，ブローデル『地中海』(1949 年刊行)がある。原題は⑤『フェリペ 2 世時代の地中海と地中海世界』といい，第一部では地理や⑥交通の役割などを，第二部では経済，商業，国家と社会の構造を，第三部では⑦レパントの海戦前後のさまざまな出来事を，さまざまな時間の尺度を駆使して描き出している。

ブローデルから影響を受けたウォーラーステインは 1970 年代に「近代世界システム」という理論を提唱し，「中核」，「半周辺」，「周辺」の三つの地域から構成されて近代世界という図式を示した。ここでいう「中核」とは，近世のオランダ，⑧近代のイギリス，現代のアメリカなどの覇権国とその周辺地域のことであり，「周辺」とは近世のラテンアメリカや⑨ポーランドのように原料や食料の供給地として「中核」に従属していた地域のことである。

1990 年代に話題になった本としては，ダイアモンド『銃・病原菌・鉄』(1997 年)がある。地域や文化のあいだの格差をおもに地理的な要因から説明しようとした著作で，題名にもあるように⑩伝染病や資源，技術などさまざまな側面をとりあげている点に特徴がある。

問 1　下線部①の人物は，イギリス外務省の職員として第一次世界大戦の講和条件にかかわる国際会議に出席した。この会議の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① パリ講和会議　② ロンドン会議
③ サンフランシスコ講和会議　④ ベルリン会議

問 2　下線部②のバビロン第１王朝の王で，同害復讐の原則にもとづく法典を制定した人物の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① アッシュルバニパル　② クフ
③ ソロモン　④ ハンムラビ

問 3　下線部③の時代を開いたとされる人物で，東方遠征を指揮したマケドニア王の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① ペリクレス　② カエサル
③ オデュッセウス　④ アレクサンドロス

問 4　下線部④の時代に，ヨーロッパ人として初めて喜望峰回りでインド航路を開拓したポルトガルの航海者の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① ヴァスコ＝ダ＝ガマ　② クック
③ コロンブス　④ マガリャンイス

問 5　下線部⑤の人物は何家の出身だったか。次から選び，その記号をマークしなさい。

① ヴァロワ家　② ハプスブルク家
③ ブルボン家　④ メディチ家

問 6　下線部⑥に関連して，近世のヨーロッパで開発され遠洋航海のために用いられた大型帆船の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① 三段櫂船　② ガレオン船　③ ジャンク船　④ ダウ船

問 7　下線部⑦の海戦に参加していたとされるスペインの作家セルバンテスの代表作を次から選び，その記号をマークしなさい。

① ガリヴァー旅行記

② ガルガンチュアとパンタグリュエルの物語

③ ドン＝キホーテ

④ ユートピア

問 8　下線部⑧で 19 世紀に 60 年以上在位し，「パクス＝ブリタニカ」と呼ばれるイギリスの全盛期に君臨した女王の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① アン　　② ヴィクトリア

③ エリザベス 1 世　　④ エリザベス 2 世

問 9　下線部⑨の国と 14～16 世紀にかけて同君連合となった地域を次から選び，その記号をマークしなさい。

① スウェーデン　　② ハンガリー

③ リトアニア　　④ ロシア

問10　下線部⑩の例として，14 世紀以降ヨーロッパで流行し黒死病と呼ばれた伝染病の名を次から選び，その記号をマークしなさい。

① インフルエンザ　　② コレラ

③ ペスト　　④ 天然痘